

■学生支援・学生生活について

前記の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」は「出身地域へのアウトリーチによる自立支援—地方の時代を支える人材育成プラン」という名称で、教職員、保護者、卒業生組織が中心となって各地域に出向き、地域で活躍する有識者、卒業生、高校教員等を招き、学習支援や進路支援を行うことにより、地域でのUターン就職を応援するプログラムです。

一般的な就職支援としては就職・進学やインターンシップ・専門職アルバイト等の相談・情報提供を行っています。9万人余の卒業生は、学んだ専門分野で資格を活かし、教員・保育士・栄養士・カウンセラー・福祉職・服飾や環境教育など、人に関わる職業人として長く社会で活躍しています。進路支援センターではそれぞれの専門分野に合わせた就職セミナーを年間合計100回近く設け、学生自身が専門職・一般職・公務員等を選択し参加できるプログラムとなっています。進路アドバイザーとしても企業の採用責任者をはじめ、小学校校長、保育園・幼稚園の園長、管理栄養士の経験者など多彩なスタッフを揃えて相談に対応しています。

新入生に対する支援として、1泊2日のフレッシュマンセミナーを学科ごとに実施しています。これは、履修・進路指導や学生生活上のアドバイス等を行うことや、各学科の教員、上級生及びクラスメートとの交流を通して、大学生活へのスムーズな移行をはかることを目的としています。また、クラス担任制の導入とオフィスアワーの設定により、学修、学生生活及び進路等の問題について、きめこまやかな指導ができる体制となっています。さらに、こころの問題を抱えた学生には、学生相談室に専門のカウンセラーを配し、クラス担任の先生方、および場合によっては家族の方々と連携して問題解決をはかるよう、援助活動を行っています。

経済的支援としては、寄付金等を原資とした大学独自の支給方式の奨学金制度を導入し、日本学生支援機構奨学金とともに、修学の機会の提供と、学業の継続を支援しています。また、学費未納による除籍者の救済措置として、一定の条件を満たした者への貸与奨学金制度も設けています。さらに、学生生活を実りあるものとするために、個人的・社会的に有意義でオリジナリティあふれるユニークな計画を支援するための後援会ドリームプラン奨学金があります。

日ごろの学びや活動の成果を発表する機会として、多くのサークルや有志団体が参加する学園祭が毎年盛大に行われます。この中で本学を特徴づける催しがファッションショーで、服飾美術学科の学生を中心に



ファッションショー

とした学生主体のグループが服のデザイン、縫製、ヘアメイク、モデル選び、演出まで手作りで行い、好評を博しています。また、模擬店の食器類はすべて生分解性素材のエコトレイを使用し、学生がデザインしたオリジナルエコバッグを販売するなど、家政学に根ざしたエコロジー活動も活発です。

キャンパス散策 (東京家政大学)



入り口ロータリー



校祖銅像

東京家政大学は、明治14年に校祖・渡辺辰五郎が、「時代の要請に応え、民衆の必要を基盤とし、女性の自主自律を願い、新しい時代に即応した学問技芸に秀でた師表となる有能な女性を育成する」ことを教育理念として、本郷湯島の地に創設した和洋裁縫伝習所をその起源としています。現在は学校法人渡辺学園として、ナースリールーム、幼稚園、女子中学校、女子高等学校、短期大学部、大学、大学院、併せて8500人を超える学生・生徒・園児を擁する学園となっています。本学の教育目標は「専門的な学術の理論と実践的な知識や技術を教授し、社会で活躍する人材を育成する」ことで、現在まで多くの卒業生が取得した資格、知識及び技術を生かして、それぞれの専門職につき社会で活躍しています。

現在、大学は家政学部5学科、文学部2学科、そして短期大学部3科で構成されています。大学の文学部は埼玉県の狭山校舎に所在しますが、平成21年度には東京の板橋校舎に移動し、ワンキャンパス化を図るとともに、文学部が人文科学部に名称変更して、3学科とし、家政学部6学科を合わせて2学部9学科とすることが、文部科学省に認められました。

板橋校舎はJR埼京線十条駅から徒歩約7分で、都心に近く交通の便が良い所にありながら、キャンパス内は緑が多く、夏のホタルブクロ、秋のワレモコウなど都会ではめずらしい植物が見られるなど、教育環境に恵まれていることが特色となっています。

平成19年度には文部科学省による大学教育改革支援プログラムのうち、「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に2件、「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」、「再チャレンジのための学習支援システムの構築」に各1件の計4プログラムが採択され、地域への貢献や研究の充実が認められ、現在、大学に求められている社会的な役割を果たしていることも実証しています。



正門



中庭

平成21年度から新システムの導入により、Web履修登録、ポータルサイトの活用が開始されます。これにより、従来、時間割表を基にOCRに記入していた履修登録がパソコン上で可能となり、履修登録の簡素化、短縮化などが実現する見込です。また、ポータルサイトの活用により、従来、休講・補講等の掲示板での連絡や各種の呼出しが、パソコンや携帯電話から確認ができ、さらに就職活動においても求人情報提供のスピード化・情報量の増加等により学生個々の要望に合った情報の提供が可能となります。学生生活上の利便性が格段と向上するものと期待されています。

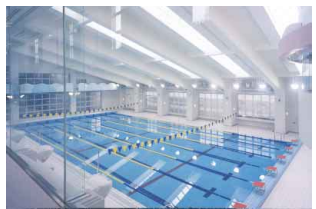
■学生生活に関連する主な施設

現在、隣接する新校地に16号棟の建築が進められています。16号棟は最も駅に近い校舎で、地域の方々も憩えるよう周辺の景観に配慮した3階建の建物で、講義室のほか小体育館、学生食堂、院生研究室、コンピュータ自習室等を備え、学生の学習・生活上の新たな拠点となる予定です。



学生寮

本学では約3割を占める地方出身の学生のために学生寮を設置しています。学生寮では規律を守り、集団生活をする事により、自己の確立、他者への思いやり、正しい生活態度を身につけることを目的としています。定員の関係で入寮できなかった学生には、大学が安全面、交通の便、食事つきの場合は食の安全等を確認のうえ、アパート、マンション、学生会館などを紹介しています。



温水プール

屋内温水プールは、授業や学校行事等以外は学生に開放しています。水泳の練習やサークル活動・クラスの親睦・エクササイズの場として、四季を通して利用することができます。開放時間内でワンポイントアドバイス、アクアビクスおよびアクアウォーキングのレッスンを自由参加で実施しています。



箱根仙石セミナーハウス

クラスの活動・親睦やサークル活動等に利用可能な宿泊施設として、学内に「ロジングエリア」、学外施設として箱根に「箱根仙石セミナーハウス」を設置しています。ともに格安な料金で利用することができます。



ヒューリップ子育て支援

本学の各学科が蓄積した専門的知識を、地域社会や卒業生などと協働して社会へ還元することを目的として「ヒューマンライフ支援センター」（通称・ヒューリップ）を設置しました。地域のこどもたちがボランティアの学生と遊ぶ催しを定期的に開催するなどの子育て支援活動、地域の商店街のイメージアップを図るためのポスター・フラッグの作成、百貨店の食堂街との協働による美と健康をテーマにしたメニュー開発、食育おもちゃの開発など、その成果が結実しています。